

## News Release

2024 年 10 月 31 日

※当該資料は、10 月 29 日付で米国ニューヨーク州コーニングにて発信された日本語訳です。

**コーニング、堅調な第 3 四半期業績を発表<sup>(1)</sup>****2026 年末までに通年売上高 30 億 US ドル以上増加、営業利益率 20%達成を掲げる「スプリングボード」計画の主要マイルストーンをハイライト****第 3 四半期業績は当社ガイダンスの上限に到達  
生成 AI 向け光接続新製品の採用が引き続き堅調に推移したことで、オプティカルコミュニケーション部門のエンタープライズ事業売上高が前年同期比 55%増加し、業績を牽引****GAAP 営業利益は前年同期比 1.5 ポイント%上昇  
コア営業利益は同 1.6 ポイント%上昇し 18.3%。2026 年末までに 20%達成という  
「スプリングボード」計画目標に向けて大きく前進****ディスプレイテクノロジー部門は製品値上げを実施。2025年には、同部門の純利益は9億～9億5,000万USドルに達するとともに、純利益率25%を維持すると予想****第4四半期について、経営陣は前年同期比で売上成長はさらに加速し、一株利益も売上高を上回るペースでの成長を予想。コア売上高は最大37億5,000万USドル、コア一株利益は0.53～0.57USドルに到達の見込み**

(1) 第 3 四半期 GAAP 売上高は 33 億 9,000 万 US ドル、GAAP 一株利益は (0.14)US ドル。第 3 四半期コア売上高は 37 億 3,000 万 US ドル、コア一株利益は 0.54US ドル。GAAP 営業キャッシュフローは 6 億 9,900 万 US ドル、調整後フリーキャッシュフローは 5 億 5,300 万 US ドル。

**コーニングインコーポレイティッド(NYSE: GLW)**は本日、2024 年第 3 四半期の業績および第 4 四半期の見通しを発表しました。

**ウエンデル P. ウィークス、会長兼 CEO は次のように述べています。**「第 3 四半期も引き続き、堅調な前年同期比の成長を達成しました。第 3 四半期のコア売上高は 8%成長し 37 億 3,000 万 US ドル、コア一株利益は売上高の 2 倍以上となる 20%増の 0.54US ドルとなりました。コア営業利益は 1.6 ポイント%成長し 18.3%でした。これらの結果は、2026 年末までに通年売上高を 30 億 US ドル以上増やし、営業利益率 20%を達成するという『スプリングボード』計画で掲げる強力な成長が現実的であることを示すものです。」

**ウィークスは続けて、次のように述べています。**「堅調な第 3 四半期業績に加え、私たちは『スプリングボード』計画の戦略的マイルストーンを達成しています。ディスプレイテクノロジー部門では製品値上げを実施し、2025 年には、同部門の純利益は 9 億～9 億 5,000 万 US ドルに達するとともに、純利益率 25%を維持する見込みです。また、オプティカルコミュニケーション部門では、生成 AI 向け新製品の需要が好調に推移しており、エンタープライズ事業における記録的な前年同期比成長を支えています。さらに最近、AT&T と 10 億 US ドルを超える規模の複数年供給契約を締結したことを発表しました。AT&T の光ファイバーネットワーク拡大をサポートし、より多くのアメリカ人に高速インターネットを提供すべく、次世代光ファイバー、ケーブル、接続ソリューションを提供してまいります。」

**エグゼクティブバイスプレジデント兼 CFO のエド・シュレジンジャーは次のように述べています。**

「素晴らしい第 3 四半期となりましたが、この牽引役となったのが、前年同期比 36%の成長を達成したオプティカルコミュニケーション部門です。生成 AI 向け光接続新製品の採用が引き続き堅調に推移したことで、同部門エンタープライズ事業の売上高は、前年同期比で 55%上昇しました。また、『スプリングボード』計画で掲げる利益・キャッシュフロー大幅増に向けて着実な進展を示すことができました。営業利益は大幅に上昇し、調整後フリーキャッシュフローは 5 億 5,300 万 US ドルを創出しました。」

**シュレジンジャーは続けて、次のように述べています。**「わずか 3 四半期で『スプリングボード』3 カ年計画の複数のマイルストーンに到達したことで、私たちの士気も一層高まっています。この勢いは今後とも続いていくと確信しています。第 4 四半期業績については、前年同期比で売上高成長はさらに加速し、一株利益も売上高を上回るペースで成長すると予想しています。コア売上高は 15%程度成長して約 37 億 5,000 万 US ドル、コア一株利益は 40%程度増加し、0.53～0.57US ドルに達すると見込んでいます。」

## 2024 年第 3 四半期財務ハイライト：

- GAAP 売上高は 33 億 9,000 万 US ドル。コア売上高は 37 億 3,000 万 US ドル
- GAAP 一株利益は (0.14) US ドル。コア一株利益は 0.54US ドル。GAAP 一株利益とコア一株利益の差は、主に為替換算調整契約および円建て債務に関連するノンキャッシュ時価評価調整、為替変動の影響調整、ノンキャッシュ資産償却費用を反映
- GAAP 粗利益は 33.5%。コア粗利益は 39.2%で、それぞれ前年同期比 1.9 ポイント%、前年同期比 2.2 ポイント%改善
- GAAP 営業キャッシュフローは 6 億 9,900 万 US ドル、調整後フリーキャッシュフローは 5 億 5,300 万 US ドル

## 2024 年第 4 四半期見通し：

- 第 4 四半期業績について、経営陣は前年同期比で売上高成長はさらに加速し、一株利益も売上高を上回るペースで成長すると予想しており、コア売上高は最大 37 億 5,000 万 US ドル、コア一株利益は 0.53~0.57US ドルに達すると見込んでいます。

## 第 3 四半期の業績および比較

(単位は百万 US ドル。ただし一株利益の金額を除く。)

### 業績 (GAAP)

	Q3 2024	Q2 2024	Q3 2023	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$3,391	\$3,251	\$3,173	4%	7%
純利益 (損失) <sup>(1)</sup>	(\$117)	\$104	\$164	*	*
希薄化後 一株利益	(\$0.14)	\$0.12	\$0.19	*	*

(1)コーニングインコーポレイティッドに帰属する GAAP 純利益 (損失)。

\*非適用

### コア業績 (Non-GAAP) (1)

	Q3 2024	Q2 2024	Q3 2023	前四半期比	前年同期比
コア売上高	\$3,733	\$3,604	\$3,459	4%	8%
コア純利益	\$465	\$407	\$386	14%	20%
コア一株利益	\$0.54	\$0.47	\$0.45	15%	20%

(1) コア業績指標は Non-GAAP 財務指標。GAAP による数値と Non-GAAP による数値の調整については、このニュースリリースに続く表や当社ウェブサイトをご覧ください。

**2024 年第 3 四半期の部門別業績****(単位 : 100 万 US ドル)**

以下の第 3 四半期の業績は、コーニングの連結財務諸表に記載されている部門別報告に基づいて作成しています。

**オプティカルコミュニケーション部門:**

	Q3 2024	Q2 2024	Q3 2023	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$1,246	\$1,113	\$918	12%	36%
純利益	\$175	\$143	\$91	22%	92%

オプティカルコミュニケーション部門の第 3 四半期売上高は、前年同期比 36%増の 12 億 US ドルとなりました。これは主に、エンタープライズ事業が同 55%増という記録的売上高を達成したことによるものです。第 3 四半期の純利益は、販売数の増加に伴う堅調な増益により、前年同期比 92%増の 1 億 7,500 万 US ドルでした。

**ディスプレイテクノロジー部門:**

	Q3 2024	Q2 2024	Q3 2023	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$1,015	\$1,014	\$972	—	4%
純利益	\$285	\$258	\$242	10%	18%

ディスプレイテクノロジー部門の第 3 四半期売上高は、前四半期比並みの 10 億 US ドルとなりました。純利益は 2 億 8,500 万 US ドルでした。

**スペシャリティマテリアルズ部門:**

	Q3 2024	Q2 2024	Q3 2023	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$548	\$501	\$563	9%	(3%)
純利益	\$72	\$63	\$72	14%	—

スペシャリティマテリアルズ部門の第 3 四半期売上高は、前四半期比 9%増の 5 億 4,800 万 US ドルとなりました。これはモバイルデバイス用ハイエンドガラス需要が引き続き堅調に推移したことによるものです。第 3 四半期の純利益は、前四半期比 14%増の 7,200 万 US ドルでした。

**エンバイロンメンタルテクノロジー部門：**

	Q3 2024	Q2 2024	Q3 2023	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$382	\$431	\$449	(11%)	(15%)
純利益	\$75	\$97	\$99	(23%)	(24%)

エンバイロンメンタルテクノロジー部門の第 3 四半期売上高は、予想通り北米における大型（Class 8）トラック市場の減速の影響が続いたことから前四半期比 11%減の 3 億 8,200 万 US ドルでした。純利益は 7,500 万 US ドルでした。

**ライフサイエンス部門：**

	Q3 2024	Q2 2024	Q3 2023	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$244	\$249	\$230	(2%)	6%
純利益	\$15	\$17	\$13	(12%)	15%

ライフサイエンス部門の第 3 四半期売上高は、前年同期比 6%増の 2 億 4,400 万 US ドルとなりました。純利益は前年同期比 15%増の 1,500 万 US ドルでした。

**ヘムロックおよび新規成長事業部門**

	Q3 2024	Q2 2024	Q3 2023	前四半期比	前年同期比
純売上高	\$298	\$296	\$327	1%	(9%)
純損失	\$(12)	\$(23)	\$(8)	48%	(50%)

ヘムロックおよび新規成長事業部門の第 3 四半期売上高は、前四半期並みの 2 億 9,800 万 US ドルでした。

**今後の説明会について**

2024 年第 4 四半期、コーニングは 12 月 3 日に UBS グローバル・テクノロジー・カンファレンスに参加します。また、当社経営陣が一部都市の投資家オフィスを訪問予定です。最新情報については、当社ウェブサイトの「[Investor Relations](#)」ページをご覧ください。

**第 3 四半期のカンファレンスコールについて**

コーニングは 10 月 29 日（火）の午前 8 時 30 分（東部夏時間）より、第 3 四半期のカンファレンスコールを開催します。ご参加の場合、コール開始前に[こちら](#)から事前登録いただけます。必要事項をすべてご入力の上、「Register」をクリックしてください。電話番号および PIN コードが自動生成され、画面にポップアップ表示されます。「Dial In」またはシステムによる「Call Me」機能を選択できます。

また、ダイヤルインに関する情報を記載した確認メールをお送りします。ライブオーディオウェブキャストをお聴きになるには、コーニングの[「Investor Relations」イベントページ](#)をご覧ください、指示に従ってください。

### 本プレスリリースの情報の表示について

本ニュースリリースには、Non-GAAP 財務指標が含まれます。Non-GAAP 財務指標は、GAAP に準拠するものではなく、GAAP に代わるものでもありません。コーニングの Non-GAAP 財務指標は、一般的な経済状況や企業活動において基本となるファンダメンタルズやトレンドを反映していないイベントを原因とする事項の影響を排除しています。コーニングは、Non-GAAP 財務指標を開示することにより、当社の基本的な業績トレンドが見えづらくなる事項の影響を除いた上で、財務成績の分析を行うことが可能になると考えています。これらの Non-GAAP 財務指標の定義および、直接比較可能な GAAP 財務指標との調整については、当社ウェブサイトでご確認いただけます。「Investor Relations」ページにアクセスいただき、「Financials and Filings」タブ内の「Quarterly Results」をクリックしてください。

これらの調整は、本ニュースリリースにも適用されています。

将来見通しに関しては、当社経営陣が外国通貨の対米ドル為替レート動向やその他当社の経常的業務を反映しない事項、未発生の事項、経営陣が抑制できない事項について予測することはできないため、これらの Non-GAAP 基準について調整結果を提示することはできません。

そのため、経営陣は GAAP ベースの見通し情報についても提示することはできません。

### 将来の見通しに関する注意点

本リリースおよびマネージメントのコメントにおいて、過去の事実または情報ではない記述や、「will（～になる）」、「believe（～と考えている）」、「anticipate（～と予測する）」、「expect（～と予想している）」「intend（～する意向である）」「plan（～を計画している）」、「seek（～を試みる）」、「see（～と見込んでいる）」、「would（～だろう）」、「target（目標とする）」「estimate（～と見込む）」「forecast（～と予想する）」またはその他類似の表現を含む記述はすべて「将来の見通しに関する記述」です。こうした記述は、1995 年米国民事訴訟改革法の「セーフハーバー」規定に沿ったものであり、経済、競合、法制度の変化に関連する予測や想定が含まれます。また、程度の差はあれ、本質的には不確実である将来の事象に関する記述となります。これらの将来の見通しに関する記述は、とりわけ、

当社の将来の業績、新規および既存市場における当社のシェア、当社の収益および利益成長率、技術革新および新製品の商品化に関する当社の能力、当社の予想される設備投資、および当社のコスト削減施策・価格設定改善策の実施（製造能力の最適化を含む）に関連しています。

当社は、これらの将来の見通しに関する記述について、とりわけ、現在の見通し・予測、一般的な経済状況、当社の事業に関する知識、および当社に影響を与える主要業績評価指標に関する合理的な仮定に基づいていると考えていますが、実際の結果は大きく異なる可能性があるため、これらの将来の見通しに関する記述が正確であることを証明する保証はありません。

当社は、適用される証券取引法で義務付けられている場合を除き、状況または経営陣の見積もりや見解が変更された場合でも、将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

将来の見通しに関する記述で明示的ないし暗示的に表明した予想と、実際の結果との大きな乖離の原因となり得るリスク、不確実性その他要因には次のようなものがありますが、これらに限るものではありません。世界経済の動向、競争リスク、地政学的リスク、米国と中国もしくはその他の国との間の制裁、関税、その他の貿易摩擦の激化、当社事業のグローバルサプライチェーンおよび戦略に対する関連する影響、または、健康危機、インフレ、金利、有価証券およびその他の金融資産の価値、貴金属、石油、天然ガス、原材料、その他の商品価格に起因する動向および変動を含む、マクロ経済および市場状況の変化および市場のボラティリティ、為替レート（特に米ドルと日本円、新台湾ドル、ユーロ、中国元、韓国ウォン）、政府のインセンティブの利用可能性、消費者需要の減少または急激な増加、ならびにそのような変化と変動が当社の財政状態と事業に与える影響。エピデミックやパンデミックなどの健康危機事象の期間および深刻度、ならびに需要、人員、事業、グローバルサプライチェーン、株価に対する当社の事業全体への影響。テロ活動、サイバー攻撃、武力紛争、政治的または金融的不安定性、自然災害、国際貿易紛争、または重大な健康上の懸念により、商業活動またはサプライチェーンが混乱する可能性。盗難、サイバー攻撃、または情報技術インフラの中断による知的財産の損失。特許を行使し、知的財産と企業秘密を保護する能力。コーニング、当社のサプライヤーおよびメーカーのサプライチェーン、設備、施設、IT システムまたは業務の混乱。製品需要および業界の供給能力。競争力のある製品と価格設定。重要なコンポーネント、材料、設備、天然資源、ユーティリティの可用性とコスト。新製品の開発と商品化。主要顧客からの注文活動と需要。計画レベルでの四半期配当の支払いまたは計画レベルでの株式の買い戻しの能力に影響を与える可能性のある、当社のキャッシュフローと利益の額と時期、および、その他の条

件。将来の配当の額と時期。買収、処分、その他の類似取引の影響。規制及び法整備の影響。予想される顧客の需要レベルに合わせて設備投資を調整する能力。製造能力の最適化、業務変更、価格設定、コスト削減策の実施を通じて収益と利益率を向上させる能力。技術変化の速度。不利な訴訟。製品およびコンポーネントの性能問題。重要な人材の確保。収益性の高い事業を維持し、継続的な事業や製造の拡張に必要な資金調達力。債権を期日までに支払う顧客の能力。重要顧客の損失。税、規制、国際課税基準の変更。税務当局による監査の影響。訴訟、政府規制、その他の政府措置や調査の潜在的な影響。その他、コーニングの SEC 提出書類に詳述されているリスク。

これらの諸リスクその他要因の一覧については、当社の年次報告書 (Form 10-K) および四半期報告書 (Form 10-Q) に記載されたリスク要因および将来の見通しに関する記述をご参照ください。

### ウェブによる情報開示について

コーニングインコーポレイティッド（以下「コーニング」）は、重要情報の開示にあたり、企業ウェブサイトおよびソーシャルメディアチャンネルに関する米国証券取引委員会（SEC）のガイダンスに基づき、投資家、メディアおよびその他利害関係者の皆様に対して、当社ウェブサイト(<https://www.corning.com/worldwide/en/about-us/news-events.html>)上で、投資家にとって重大とみなされ得る情報など当社に関する重要情報につき、本プレスリリースまたは他のプレスリリースの補足情報を公表します。当社が用いるウェブサイトおよびソーシャルメディアのリストは、当社メディアおよびウェブサイト上で随時更新される場合があります。投資家、メディアおよびその他利害関係者の皆様におかれましては、SEC への提出書類、プレスリリース、カンファレンスコール、ウェブキャストに加え、上記ウェブサイトおよびソーシャルメディアチャンネルを通じた発表情報をご確認いただきますようお願いいたします。

### コーニングについて

コーニング([www.corning.com](http://www.corning.com))は、材料科学における世界有数のリーディングイノベーターとして、創業以来 170 年にわたり、人々の暮らしを変える発明を重ねてきました。ガラス科学、セラミックス科学、光学物性に関する圧倒的な専門知識と、強力な製造・エンジニアリング能力を武器に、産業に変革をもたらした人々の暮らし向上につながるような、様々な定番製品を開発してきました。研究開発およびエンジニアリングへの継続的投資、革新的な材料およびプロセスの独自の組み合わせ、そして各業界で世界をリードするお客様との深い信頼に基づく協力



関係により、大きな成果をあげてきました。コーニングの能力は幅広く応用可能で相乗的な効果を発揮します。こうした能力を武器に、絶え間ない市場ニーズの変化に応えるべく進化し、変動の激しい業界において、お客様の新たなビジネス機会の創出をサポートしています。

当社は現在、オプティカルコミュニケーション、モバイルコンシューマーエレクトロニクス、ディスプレイ、オートモーティブ、太陽光、半導体、ライフサイエンスの各市場で事業を展開しています。

**メディア問合せ:**

(日本)

藤田 美和

03-5562-2726

[fujitam@corning.com](mailto:fujitam@corning.com)

(米国)

Media Relations Contact:

Michael A. West Jr.

(607) 684-1167

[westm4@corning.com](mailto:westm4@corning.com)

**IR 問合せ先:**

Ann H.S. Nicholson

(607) 974-6716

[nicholsoas@corning.com](mailto:nicholsoas@corning.com)